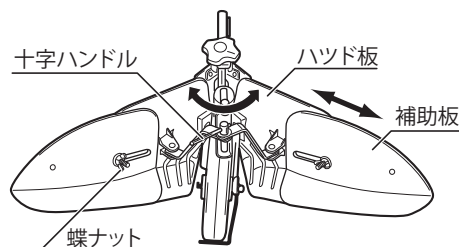
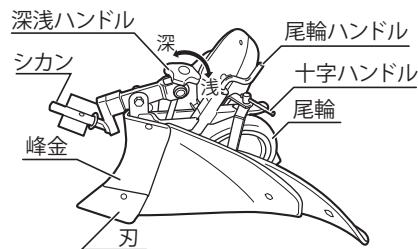


## ●使用方法

1. 培土器の峰金が地面と水平になるように、深浅ハンドルを回してください。
2. うね立てを行ない、うねが浅いときには深浅ハンドルを左に、うねが深すぎるときには右に回し、作りたいうね高さに調整してください。
3. うねの間隔は、培土器の十字ハンドルをゆるめ、ハツド板の開閉を行ない調整してください。  
また、蝶ナットをゆるめ、補助板を前後に動かしても調整できます。
4. うね高さ、間隔がほぼ調整できたら、尾輪が地面にあたるように尾輪ハンドルを調整してください。



- ・うね間の中耕、培土を同時に行なう場合、および狭いうね間を培土する場合は、別販売品の中耕車輪を併用して作業をしてください。
- ・粘土質の田畑などでは使用しないでください。駆動部（モーター / エンジン）に負担がかかり、故障の原因になります。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

## 京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社  
広島県福山市松浜町 2-2-54 ☎720-0802  
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



## 商品のお問い合わせ窓口

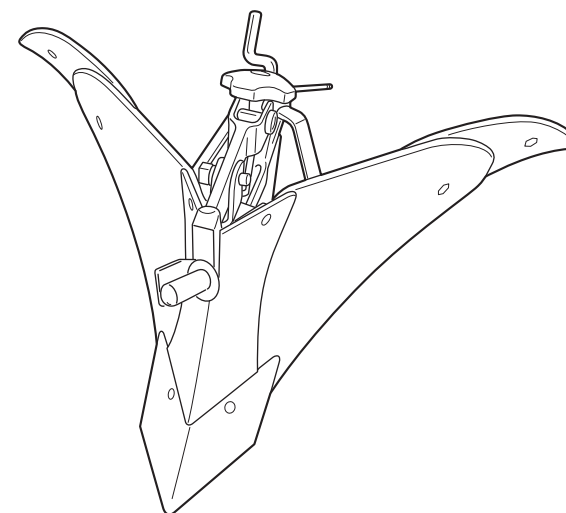
ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）  
9時から12時まで、13時から17時まで

# カルチベータ用培土器

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書および取付けるカルチベータの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。  
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

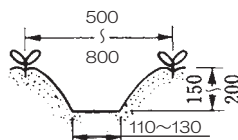


## —— もくじ ——

- ・仕様・用途・適用機種 …………… 1
- ・適用機種と使用できる培土器 …………… 1
- ・取付方法 …………… 2
- ・使用方法 …………… 3

## ●仕様

- ・ 峰金高さ ..... 200mm
- ・ 刃先幅 ..... 110mm
- ・ ハツド板開閉範囲 ..... 460 ～ 700mm



## ●用途

- ・ うね立て（作物栽培のため、直線上に土を盛り上げる）
- ・ 培土（うねを形成したり、作物の根元に土を寄せる。）

## ●適用機種

- ・ カルチペータ ACV-1500 , RCVK-4300 , RCV-3410

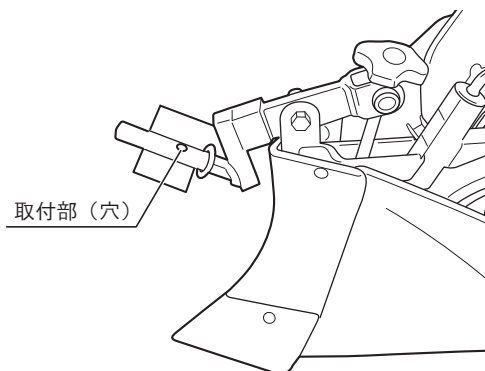
## ●適用機種と使用できる培土器

| 適用機種                    | 機番（a）※1               | 機番（b）※2                |
|-------------------------|-----------------------|------------------------|
| ACV-1500                | ～ No.5400             | No.5401 ～              |
| RCVK-4300               | ～ No.6730             | No.6731 ～              |
| RCV-3410                | ～ No.1300             | No.1301 ～              |
| 培土器 コード No.<br>（取付部の穴径） | 6091062<br>（8.5mm ※3） | 60900077<br>（6.5mm ※3） |

※1 機番（a）の機種の場合、培土器（60900077）は取付けできません。  
お買い上げの販売店へ培土器（6091062）の交換をご相談ください。

※2 機番（b）の機種の場合、培土器（6091062）を使用すると、取付部が破損する  
おそれがあります。培土器（60900077）の交換をご相談ください。

※3 培土器のコード No. が分からない  
場合には培土器取付部の穴径で  
ご判断いただけます。



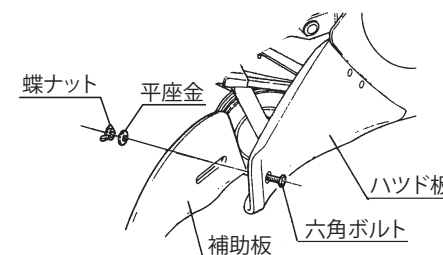
## ●取付方法



**警告**

- ・ 培土器の取付け、取外しや調整の際は、必ずカルチペータを停止してください。

1. 補助板をハツド板に取付けます。同梱の六角ボルト、平座金、蝶ナットで取付けてください。



2. 本機から抵抗棒を取外します。  
取付けるカルチペータの取説を参照ください。

3. 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、培土器のシカンの本機のヒッチにさし込み、穴位置を合わせ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。

